



No.25 2006.6.27 発行
 群馬県立高崎高等学校 翠巒体育会報
<http://www5.wind.ne.jp/t2suiran/>
 E-mail suiran-taiikukai@apost.plala.or.jp



座談会

運動部とOB会の現状と今後

5月8日、翠巒体育会30年と会報25号発行の節目に合わせ、学校側と各運動部OB会長の座談会が高崎ビューホテルで行われた。学校側は現役部員の奮闘ぶりを紹介、OB会側からは学校への要望とともに、OB会運営の現状と課題などが報告された。学校側の説明では、本年度は各運動部の戦力が充実、県大会はもちろん、関東や全国大会に向けて、士気が高まっているという。また各OB会からは、現役の頑張りや期待する声が寄せられる一方、会費の徴収方法や若手の参加意識の希薄化などOB会が抱える共通の課題について意見が寄せられた。

【高橋浩生・翠巒体育会長】

本日はお忙しい中、校長先生をはじめ学校側の先生方、各OB会長のみなさん、お集りいただき有り難うございます。翠巒体育会30年と会報25号発行を記念し、今回の座談会を開催しました。各運動部のOBによる座談会は過去2回企画されており、前は7年前に若手OBを中心とした座談会を行いました。今回のOB会長による座談会は初めての試みです。貴重な機会ではありますが、この場で結論的なものを導くのは困難だと思います。この座談会ではOB会の現状と今後についてぜひ前向きで建設的意見を寄せていただければ幸いです。

ではまず学校側の取り組みからご紹介していただければと思います。

【栗原健校長】

本日はお招きいただきありがとうございます。運動部の近年の活躍は過去に劣らず盛んになっています。県内屈指

の進学校として期待され、高いレベルを維持する一方で、学校側には人としてどう成長させていくかが求められています。生徒たちには勉強に励ませつつ、伝統行事や部活動にも一生懸命取り組む姿勢を大事にさせていきたい。生徒は部活動も本当によく頑張っており、まさに文武両道を実践している。また先生方の非常に熱心な指導もポイント。生徒、教職員が一体となって盛り上げていこうという熱気を感じています。今後も伝統校ならではの校風、気概を大事に頑張っていきたい。各運動部のみなさんからも学校側に要望があればどんどんお寄せいただければと思っています。



校長
栗原 健

【長竹潤運動部長】

バスケットボール部の顧問をやらせてもらっています。赴任して4年、運動部長は2年目です。では学校側から運動部の活動状況について説明させていただきます。

在籍数963人、そのうち運動部に所属しているのは614人、運動部参加率は63・8%です。多かつた時で75%、ここ数年、割合は若干下がる傾向にあり、その分、学芸部の方に入っています。現在、1年生が68・5%。今年も総体、夏を経て1年生がどのように動くかで全体の数字は変わってくると思います。また運動部の全体像を探るため高校総体の成績を見てみますと、14、15年度は育英高校について2位、その後は3位、4位で推移しています。一番肉迫した時が14年度で、育英98、高高97・5でした。昨年度は厳しい状況でしたが、本年度は運動部の戦力は非常に充実しています。また、過去10年間さまざまな競技で全国大会に出場しており、特に14年度はもっとも多く出場を果しています。



運動部長
長竹 潤

それぞれ部でも今後OB会のみならず、お世話になることも多いと思いますが、ご協力と

援をよろしくお願ひ致します。

【齋藤英敏・硬式テニス部OB会長】

私たちはOB会としてまだ歴史が浅く、6、7年前から活動を開始し、3年前に正式発足したばかり。硬式テニス部の活動も歴史が浅く、私が40歳、一番上のメンバーでも45歳です。しかしながら、現役の後輩たちの頑張りには目を見張るものがあり、昨年度は野球でいえば21世紀枠と同様の特別枠で全国大会に出場しました。群馬の硬式テニスのレベルはこれまでそんなに高い評価は受けてきませんでした。顧問の先生から聞いたところによると、全国の常連と遜色なく戦える力を持っていたとのこと。OB会としては嬉しい悲鳴ですが、全国大会などへの出場の際には今後はどんどん支援をしていきたい。



硬式テニス部OB会
会長
齋藤 英敏 (83期)

っているのか聞いてみたい。また他の部活の成績を見ると、高いレベルにあるが、野球は前高の下になってしまっており、あまり振るわない。これが現状だ。

【高橋会長】

本日は他の部の現状を聞くことによって、問題を共有できればという趣旨もあります。また本日参加されている各OB会長の卒業年度には52期から85期と33年間の開きがあります。様々な部の様々な年代の意見が聞けると思うのでぜひ議論を深めていただきたい。

【吉井章一・山岳部】

本日は清水会長の代理として出席させていただきました。山岳部は私より10期前あたりから総体に参加するようになりました。「山登りは数字で計るものではない」という考えから、競技を途中棄権した先輩もいた期もありましたので、平成14年度の国体出場や、昨年度の総体5位という近年の活躍に驚いております。しかし現在、部員は3年生4人だ



若い会ですが、少しずついろいろなお手伝いのできればと考えています。

【川手義昭・野球部OB会長】

運営に携わっていて、悩みは強制力がないこと。そして会費の問題。卒業すると自動的にOB会名簿に名前が載るが、本人は果してどの程度自覚があるか。高高で野球をやっていたというだけで、部活動に入っていたという意識が薄い。一人ひとりの意識を高めていかなければ解決しない問題だ。また前高は上(大学)へ行って東都、六大学でレギュラーとして活躍する者も見受けられるが、高高はそういう傾向はない。どうしてだろうか、考えたり話し合ったりしたこともあるが分からない。他の部活ではどうな



野球部OB会
会長
川手 義昭 (62期)

けという状況で、部の存続に懸念を抱いています。OB会としては、翠巒体育会での活動を一時離れておりましたが、3期前から再加入し、OB会活動を再開させていただきました。現役に対しザックを用意するなどの支援を行っております。また、総会開催の準備もすすめています。結束力が弱いことが課題ではありますが、新しくなった山岳部OB事務局の方たちに期待しております。

【清野哲雄・サッカー一部OB会長】

サッカー部OB会は近年、現役部員数の多さに恵まれ、卒業生(OB会員)が630名程。これらの会員への通信方法を郵送からメールおよびフリーメールの活用に変更するなど、事務局の効率



山岳部OB会
吉井 章一 (78期)



サッカー一部OB会
会長
清野 哲雄 (74期)

化を図っております。現役の試合、遠征などの日程も随時メールで案内しております。恒例のOB会行事の他、保護者会とも連携をはかり、総会、新年会などに参加させていただいております。現役への支援ですが、現在の高校サッカーで群馬のベスト4に入るには顧問の監督だけでなくコーチがどうしても必要になってくるのが実情です。そのためOB会と保護者会で資金を出し合いコーチ料に充てております。

近年は、遠征合宿が多いため、現役と交流する機会が少なく、どうしても現役、OBともに顔が分からなくなっているという状況があり、残念に思います。しかし、来年は創部60年を迎えるため、なんとか久しぶりに決勝にコマを進められるよう、応援していく次第です。

【秋山賢治・応援部OB会長】

県内の高校でも応援部の存在は少なくなり、翠巒体育会に参加させていただいていることに感謝しています。我がOB会も全体同窓会の当番期に近くなると出席するという方が多く、世代間の相互交流が課題。一方、現在の応援風景について申しますと、例年の野球応援でも気付くことですが、プラスバンドの演奏も含め、どこの学校も同じ、画一的で残念な感じがします。例えば前高にはチャンスになると「行け行け前橋」という確固たるフレーズがあり大きな特徴になっている。ランナーが2塁に進むと攻撃が終了するまで絶対にやめない。



応援部OB会
会長
秋山 賢治 (74期)

気概みたいなものがある。野球に限らないことですが、高高には校歌、応援歌のほかクラス会の歌、第2応援歌など伝統ある曲が多く、それらをどんどん活かして「高高兴兴」運動部全体を盛り上げ、学生の結束を高める方向に行ってもらえればと思います。

【菊地俊二・バレーボール部OB会長】

翠巒体育会が設立された時は(教員として)学校にいました。「学校の運動場を整備するので力を貸して欲しい」との要望に応え、國峯氏が中心となって



バレーボール部OB会
会長
菊地 俊二 (52期)

翠巒体育会を設立し、協力したことが始まりです。そして、陸上競技場や野球場、テニスコートなど、いろいろ立派な施設ができたのです。

バレー部OB会の活動では、1月に現役とOBが一緒になって試合を行った後、OB総会・新年会という流れで、飲み会だけでは足が遠く若手OBの参加を促す工夫をしています。OBは翠巒クラブというチームで全国大会へも15回出場していますが、OB会としては現役に関東、全国に出場してもらわないと、なかなか盛り上がりがないので、現役には強くなってもらいたい。当時、顧問として高々バレー部の指導にあたって、軸にしていたのが集中力、時間の使い方について。「お前達は時間が大事だから、やってる時は死ぬ気でやれその中身は他人に負けてはいけない。終わったらすぐ帰って勉強しろ」というのが方針でしたが、高々生はこれができるんですね。ここが高崎高校の素晴らしいところ。魅力ある部活動には自然に部員が集まってくる。「部活をやっていたから今の俺がある」と思えるような部は最高にいい活動をしていると思います。「あのとき一生懸命やったから今の自分がある」と自信を持って言ってもらえるような活動をしていくことがいいと思います。

【丸山博・ソフトテニス部OB会長】

私も30年前の翠巒体育会立ち上げの時に学校にいました。25歳でした。30年後にこういう姿になると感慨深いものがあります。教え子に恵まれ、過去10年間で個人、団体含め7回全国大会に出ています。OB会としては毎年8月に試合をやった後、懇親会を行っています。菊地会長もおっしゃいましたが、OBが社会人になってから「部活動をやっていた3年間があって今の自分がある」と振り返ることができるように場を設けたいと思っています。バランスの取れた人間として成長し、群馬のスポーツのリーダーになってもらいたいと思っています。



ソフトテニス部OB会
会長
丸山 博 (68期)

【笠井秀昭・剣道部OB会長】



剣道部OB会
会長
笠井 秀昭 (56期)

今年から会長をやらせてもらっています。OB会は、350人くらいの会員がおります。剣道は生涯現役が特徴で、200人ほどが現役として活動しております。現役が多いせいか、OB会の活動も活発で、ゴルフ、マージャン、水泳、陶芸など趣味の部会ごとに年に2、3回は集まって交流を深めています。毎年シテギャラリーで作品発表などもしており、これまでは作品を希望者に持ち帰ってもらっていましたが、これからは販売できるものは販売し、現役への支援に充てよ



うかなどとも相談しています。現役とは春夏の合宿などで顔を合わせます。いつも言っていることは、剣道を継続して県や地域、組織の指導者として普及、発展につなげてもらいたいということです。OBの多くが県組織の役員などにも入っており、情報交換も行っています。また新入生の歓迎会なども企画したいのですが、場所など学校側で貸していただけるスペースがあれば、時間なども含めて学校側とお話できればと思います。

【谷一行・陸上部OB会長】

現役の支援とOBの交流、ほかのクラブさんと一緒ですがこれがOB会活動の2本柱です。個人競技でつながりという点で難しさもあるが、みんなに呼び掛けて、高校総体などなるべく応援に行くよう心がけています。他部活動の活動を参考に、卒業生にネクタイをプ



陸上部OB会
会長
谷 一行 (70期)

レゼントするなどの企画も行っています。年に一度の懇親会で交流を深めており、これまで役員など出席者が限られ、なかなか20人集まらないなど苦労してきた傾向があったが、ここ数年は素晴らしい指導者に恵まれ、教えを受けた若い人たちが参加しはじめてきています。この波を生かしていきたい。予算的にはあつぷあつぷ、持ち出しでやってきた。人数的には450人だが、会費3000円を払ってくれる会員は限られており今後の課題になっています。

【林進一・バスケットボール部前OB会長】

昭和20年代から活動していると聞いています。当初は顧問の先生を募って集まってくる「囲む会」、仲良し会のような性格づけでした。

400から500人の会員がいますが、やはり固定メンバーしかこないのが課題。毎年総会を行っていますが、出席者は30人ほど。3代目として8年会長をやらせてもらいましたが、私より先輩のOBと後輩のOBをいかに融合させるかということに努めましたが結果は未だでない。75期の橋爪新会長が中心となって、どういう切り口がいいのかを考え、もっと若い人に参加してもらおうよう取り組んでおります。



バスケットボール部OB会
前会長
林 進一 (72期)

現役への支援としてはバスを寄贈したりしています。現役がインターハイに出るとやはり寄付金を集めるなどの活動を通じてOB会も盛り上がる。毎年出ていくんだという強い気持ちを持って頑張ってもらいたいし、できる限り支援していきたい。話に出ましたが、バスケットボール部も強豪大学でプレーする卒業生はやはり少ない。どう



増やしていくかが課題になっている。

【永尾俊弘・水泳部OB会長】

水泳部は、昨年の本誌にも掲載されたように60有余年の歴史があります。しかし、OB会活動は断続的なため、戦前のOBの方々をはじめ一部のOBの方々を、残念ながら把握できておりません。OB会活動の問題点については、他のOB会と共通した部分もあるが、水泳部には他の部にはない構造的な問題点があります。オリンピックで金メダルをとった北島選手の出身大学、出身高校をご存知の方は少ないと思います。トップレベルの選手は所属校に帰属意識はなく、スイミングクラブに帰属意識が



水泳部OB会
会長
永尾 俊弘 (70期)

あります。そのためスイミングクラブが水泳競技の中心であり、学校スポーツとしてはほぼ壊滅状態です。ただ水泳競技は、3人優秀な選手がいれば高校総体で優勝できます。その点からすれば、高々にB推薦で優秀な選手をどんどん入れていただければ、高校総体には貢献できます。また、水泳部のレベルアップという点からすれば、高々出身の指導者を招聘してほしいと思っています。

OB会費は、集金方法の効率化をはかるため一部の有志からの協賛方式をとっています。

【橋爪洋介・卓球部OB会長】

今年の1月から会長となり、層の厚い50期、60期代の先輩方と私(85期)以降の世代との橋渡し役を担っています。現役へのサポートとしては、年2回の合宿への参加や交流試合を通じて技術的なアドバイスをしています。そうしたなかで感じるのは基礎体力がもう少しほしい



卓球部OB会
会長
橋爪 洋介 (85期)

などという点です。現在、現役は1年生から3年生までバランスよく集まり、人数的にも恵まれているので今後に期待しています。私たちのころは競技自体がマイナーで、卓球の雑誌を探すのも難しかった時代でしたが、今は福原愛ちゃんなどの登場で、試合がゴールデンタイムにテレビ放映されるなど、注目され嬉しく思います。男子はまだまだですけど。

【鳥居吉二・柔道部顧問】

関口茂樹OB会長は所用のため欠席させていただきました。年に一度の総会、OBと現役の交流試合などを行っています。卒業したてのOB10人から15人くらい

と現役が試合をしますと、やはりOBの方が強い。県の組織の役員をやっているOBも多く、いろいろ盛り上げてもらっている。OBからは、全国大会や国体に行けばいくらかでも出すと心強い言葉を受けています。現場で見えていてですが、



柔道部OB会
鳥居 吉二 (73期)

部内には技術、体力的にさまざまなレベルの生徒がいます。なかなか勝てない時期もあるが仲間意識を持ち3年間影響しあって、その後の生活がいい方向に進んでくればと思っています。

【高橋会長】

もっと意見交換したいところですが、時間の関係もあり、ここで終わりにさせていただきます。本日はOB会各会の運営についてさまざまな意見が出ました。これらを参考にしつつ、前向きにとらえて元気の組織としてみなさん活動を続けてもらいたいと思います。元気のOB会が元気の翠巒体育会を作り上げ、ひいては現役の元気の部活動、元気の高高につながって行くと考えています。本日はどうもありがとうございました。きょうの座談会を各OB会のよき糧としていただければと思います。

座談会 運動部とOB会の現状と今後

中島クリニック

中島 透 (バスケット部 73期)

〒370-0065 高崎市末広町85-1
TEL.027-323-2077

高崎白衣大観音 高野山別格本山 **慈眼院**

住職 橋爪 良真
(バスケット部 75期)

高崎市石原町2710-1 TEL.027-322-2269
http://www.takasakikannon.or.jp/

(有)ゴトウ企画

代表 後藤 聡 (75期)
後藤 純 (バスケット部 105期)

高崎市矢島町348
TEL.027-350-1218 FAX.027-350-1219

新 教 頭 赴 任

【新任のご挨拶】.....



教頭
田中勇一

4月に赴任して以来、生徒諸君や教職員の皆様の活気溢れる自信に満ちた日々の活動に伝統校のたくましさを感じ、圧倒されております。教諭として吉井、富岡、前橋南高校を、教頭として藤岡工業、松井田高校を経験し、今春転出された飯塚教頭の後任としてお世話になることになりました田中と申します。本校68期の卒業生です、どうぞよろしくお願いたします。

○3F精神、文武両道

SSH（スーパーサイエンスハイスクール）HS（ヒューマンサイエンス）への取り組み、翠巒祭、前高との定期戦等、学校行事や部活動への生徒の自主的かつ積極的な参加の姿勢が、本校の進学実績の向上をもたらしていると思われま。学習と部活動等の両立は当然簡単なことではなく、進学中心の生活にシフトしがちな風潮の中で、文武両道を実践していく伝統的な高スタイルが、若い世代に引き継がれていることはすばらしいことと思ひます。

今年の高校総体では柔道、硬式テニス、軟式テニス、バスケットボール、バレーボール、ラグビーを中心に各部の頑張りの特筆ものでした。残念ながら目標とした総合優勝には届きませんでしたが、近いうちに県の頂点に立てることを実感させる各部の戦いであったと思ひます。選手諸君の努力、顧問の先生方の献身的な指導と共に翠巒体育の皆様のご支援・ご協力のたまものと感謝申し上げます。

硬式野球部は春季大会4回戦で、選抜出場校高崎商業と対戦し惜敗しましたが、随所に見られた果敢なプレーは夏の大会の上位進出を予感させるものでした。

各部とも今後さらに切磋琢磨し、インターハイ予選や高校野球県予選で、全

国に上り詰める戦いをしてくれるものと期待しています。

「高高とはやりたくない。本番に強い。」そんな声が今年も聞こえてくると思ひます。

○本多監督、高橋部長

正門から続く銀杏並木を歩いていくと今でも本多饒監督、高橋正親部長のユニフォーム姿が浮かんできます。二年の冬には腰のケガで3ヶ月近く入院し、チームに何一つ貢献できなかった下手な野球部員でしたが、40年たった今でも当時の記憶は鮮明です。

〈グラウンドを訪ねてくれた先輩への挨拶が遅れしかられたこと〉〈ボールの数が足りなくて暗闇の中で1時間以上探したこと。当時はボールの数を毎日数えていました〉〈放課後すぐグラウンドに出るため、6限の授業にはストッキングをはいていたこと〉〈ブッシュバントやバスターなど新しい戦法を教えていただいたこと〉〈前橋工業との練習試合で敗れ、学校まで用具を持って下駄履きで歩いて帰ったこと〉〈圧倒的に不利であった夏の農大二高戦で徹底したインコース攻め、外野手の極端な左守備で善戦したこと〉

挨拶や用具を大切に、練習に素早く取り組み、負けを悔しがり、相手に勝つための工夫・努力を徹底的にすることなどたくさんのごをグラウンドの内外で教えていただきました。

本校57期の卒業生、本多饒氏率いる「高高の本多野球」は、やがて群馬の高校野球界を席捲することになるわけですが、その初期に高校野球の基本を教えていただいたことを大変光栄に思い、感謝しております。

「4当5落」（5時間寝ては、大学に合格できない）と言われていた当時、運動部の部員数はどの部も少なく、文化部の全盛期だったと思ひます。

私が30年近く監督、部長、高野連の理事として高校野球に携わりながら教員生活を送ることができたのも、高校時代の経験があったからだと思ひます。

○高校生の計り知れぬ可能性

スポーツを人間形成の糧とする、たくさんの指導者、保護者、高校生に野球を通して出会うことができました。

〈ノックのボールが顔面に当たり、唇を切った息子に「よく逃げないで体で止めた」とほめ、「先生、謝らないでくれ」といった父親〉〈100本の個人ノックの最後で、「もう1本」を500回近く要求し、2時間も頑張った生徒〉〈最初の1球で完全試合を覚悟した監督をよそに、「このピッチャーはマシン並だよ」の1番バッターの一言で、横浜高校を苦しめた松坂投手を知らなかったチーム〉

母校高高と大会で戦ったことは、不思議なことに一度しかありませんでした。その唯一の対戦が吉井高校監督として戦った昭和55年秋の県大会決勝戦でした。母校の悲願であった甲子園出場を確実にする水戸の関東大会に、共に出場する事ができたことも今ではいい思い出です。

教員生活の最後に母校で仕事ができることに大変感謝しています。卒業生とは名ばかりで、今まで何一つ母校に役に立つことはできませんでした。高い志を持ち、3F精神を堅持し、文武両道を実践し、将来のリーダーたるべく日々奮闘努力している生徒諸君、その生徒達を休みなく支えている教職員の皆様に微力ながらお手伝いができればと思ひます。

最後に翠巒体育会の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます、新任の挨拶とさせていただきます。

硬式テニス部OB(83期)

専務取締役 **高橋 裕宗**

株式会社 **丸高海苔**

高崎市問屋町西1-5-7 TEL 027-362-1341

硬式テニス部OB(91期)

原 寛

カネト水産 つりばり・虹鱈料理・手打ちそば

高崎市倉渕町川浦3900-156 TEL.027-378-3132

ホームページ <http://www8.wind.ne.jp/wakaba/>

硬式テニス部OB(83期)

長谷川 酒店

焼酎・ワインetc.各種取り揃えております。

長谷川 泰三

高崎市栄町20-1 TEL 027-323-2505

青春の絆

剣道部



KIZUNA

柳沢 敏 (55期)

思い出すまに

昭和30年8月3日。今日は夏期合宿一週間の最終日だ(参加者20人)。朝5時30分、合宿所で目が覚める。身体中が痛い。校門に入って一番奥の突き当たりの2階が合宿所だ(1階には運動部の部室がいくつかある)。素足に万年草履を突っかけて、そこを出る。銀杏並木の砂利道を通り、校門の右にある講堂に入る。稽古着に着替える。むせ返るような汗の臭いがする。今日も

暑くなるだろう。稽古着を着ただけで汗が吹き出る。窓を開け雑巾がけ10分間。卓球台が3セット重ねられ端の方に整頓してある。「正座、黙想」。先生(故網中正昭氏)の大きな声が講堂一杯に響き渡る。今日は合宿最後の日なので、午後と夕方の稽古はない。頑張ろう。小林桂一郎先輩の「稽古始め」の声と共に激しい竹刀の音がする。みんな元気だ。先輩は市内の会社に出社のため7時には上がる。次々と我々同輩に稽古をつける。私も2回懸かるが、息が切れる。先生と先輩の稽古は実に面白い。あつという間に2時間が過ぎた。稽古着を脱ぎ、講堂の外に陰干しをする。指月庭園の方を見ると井上さん(故井上房一郎井上工業社長)がパナマ帽に色の薄いサングラスを掛けた出で立ちでバラの剪定をしている。「元気だね。」と声をかけられる。校舎の階段の下にある窓のない狭い部屋に防具を置いてから宿舎に戻る。宿舎の外に付けてある階段を昇る。太股が痛い。空腹を感じる。運動部室の裏にある食堂に降り、食事をする。生卵におしんこ。丼にいっぱいのお揚げの入ったみそ汁が実に旨い。

午前10時、我々3年生5人が先生に呼ばれ、教科書を持って教室に集まったが、5人だけだと調子抜けだ。実に広く感じる。黒板の前に横一列に座り、

英語の特訓を受ける。パンツ一つで篠を振り振り黒板に大きな字を書き、大きな声で優しく丁寧に教えてくれる。午後3時まで自由時間。暑い。前のプールで泳ぐ者、勉強する者、様々だ。先生の提案で烏川に魚取りに行くことになる。八千代橋の袂に自転車を置き、川に入り魚を追い廻す。川が分かれている一方を50メートルくらい下流に魚が素通りで下るのを防ぐために石を積み上げ水だけを流すようにする。その上流を石、土、草根等で完全に止め、他方に流す。水量が少なくなってくると魚がピチピチと跳ね廻る。漏水のため一部に水溜まりができ、ウナギやナマズが集まる。これが掴みにくいので悪戦苦闘する。カーバイトを買いに行く後輩。宿舎にバケツを取りに戻る者。約2時間後、ほとんど捕り終わるとほっと一息。腰を伸ばし上を見るとあつと驚く。八千代橋の朽ちた今にも崩れそうな欄干に、片足をのせ自転車に乗ってこちらを見ているおじさんと、目がピタリとあってしまった。あつ、校長だ(第17代校長、故田中悦平先生)。暫く見ていて、黙って去って行った。(後日網中先生の話では「校長はニコニコして一言も発しなかった。」とのこと)。大漁だ。バケツを持って学校に帰る。

門を入ると、ラグビー部が乾いた砂埃をあげ練習をしている。中には同級のSやNや故Hが走り廻っている。時々マンキー(故富田俊一先生)の甲高い声が響き渡る。日当たりの中、ジリジリと暑いだろう。今年も全国大会で上位に食い込める事を願う。泥と汗の身体を洗い、プールに飛び込む。父兄が差し入れてくれた西瓜が10個ほど浮いている。夕食後が楽しみだ。その後どう過ごすか同輩諸氏の誰かが提案するのを待つが何もない。結局、個々の時間を持つことになった。10時30分消灯。おやすみなさい。

高校時代の夏休みの思い出を一日の日記に思い出すまま綴ってみました。慣れないもので、乱文で申し訳ありません。高々剣道部を卒業してから50年が過ぎ、馬齢を重ねた小生も、今年68歳になります。厳しくも優しく接してくれた故網中先生の若かりし姿が目には浮かびます。



前列右は故網中正昭先生、左は故白石健三先生。筆者は後列右端。

良い食事・あふれる自然・子どもに応える室内環境
モンテッソーリ教育実施園

城之内保育園

山岳部OB(79期) 吉井昭道

高崎市浜川町249-3 TEL.027-343-1676

小4~中3 補習・高校受験

翠ゼミナール

みどり 山岳部OB(79期) 吉井昭道
応援部OB(85期) 木内寛樹

前橋市総社町総社1520 TEL.027-253-7036
利根郡みなかみ町後閑329 TEL.0278-62-1379

バレーボール部OB(78期)

税理士 高橋 浩生

水泳部OB(89期)

白井 浩一

高橋浩生税理士事務所

〒370-0072 高崎市大八木町3002番地10
TEL 027-363-6303 FAX 027-363-6302

先輩、同輩、そして後輩の皆様、ありがとうございます。

KIZUNA 小池 政一 (77期)
道場の思い出

我々剣道をやってきた者にとって「道場」には、一種独特の思い出がある。高々剣道部の思い出は多々あるが、その中から特に「道場」に視点をあてて思い出を辿ってみたい。昭和50年入学の私たちは、卒業までに3つの道場を使用した。1つ目は、現在のプールの位置にあった武道場である。この道場はすでにかなり老朽化しており、床はふかふかと弾力性があり、さながらトラランポリンの様であった。1つ上の先輩までは主にここで汗を流したが、われわれが入学して間もなく、部室として使用されることになった。もと道場であっても部室となると雑然となり、剣道着・袴の隣に水泳パンツやタオルがほしてあり、ロッカーにはしわくちやになったワイシャツと紺色に白二本ラインのラグビージャージが詰め込まれているのが日常の風景となった。それでも昼休みにはここを使って素振りをしたものである（先生の言いつけか、自主練か覚えてないが）。裏がすぐどぶ川で、夏は蚊に悩まされた。

2つ目の道場は、現在の柔・剣道場の位置にあった道場である。2年生まではもっぱらこの道場で稽古をした。ここは体育の「格技」でも使用されていた。もと体育館だったのか、かなり広く、雑巾がけを一往復ただけで、足がパンパンになった。夏合宿では卒業した先輩が来て、ウサギ跳びをしながらの素振りを何周もやらされ、へとへとになったことを思い出す。奥には狭い先生の部屋があり、ちよつとのぞくと、先生（別府重龍先生）が真剣を抜いてポンポンと打ち粉を打っておられ、ゾツとしたのを覚えている。この道場は木造の旧校舎とつながっており、間にトイレがあった。このトイレは夏場ひんやり涼しいもので、きつい稽古中、吐きに行くふりをして休みに行く要領の良い者もいた。

2年生の後半になって3つ目の道場に引っ越すことになった。それは、校門



前列右2人目は別府重龍先生、右3人目は白石先生、前列左端が筆者。

入ってすぐ右手にあった講堂（現在のスイラン会館の位置）である。床は真っ白な板で張り替えられ、壁や天井も改修された。この道場は風格があり、我々は皆ここが好きであった。ただ、張り替えられたばかりの白木の床はスルスとすべり、あっちこちで転倒する者が相次いだ。板が乾燥しているためと考え、雑巾がけはたっぷり水を含ませてやったが、あまりはかばかしくなかった。そのうちに、別府先生がどこからか聞いてこられたのか、塩をまき始めた。稽古前に大袋から塩をまく様子は、相撲の土俵入りのようであった。しかし、この塩がくせ者で、すべる上に、足の豆やひび割れにしみることしみる。結果的にはこの塩が功を奏したのか、しだいにすべりは収まってくるのだった。卒業してから、何度かこの道場に足を運んだが、そのころには床が黒光りして一層道場に風格をもたらした。このころは朝練もやっていたと思う。朝7時半には雑巾がけをし、約45分ほど汗を流した。放課後は約1時間半、冬場は1時間も稽古しなかったと思う。そうした稽古量で常に県大会ベスト4以上に入っていたというのは、先生の教えがよかったのか、短時間集中の稽古がよかったのか。あるいは、今よりも周りの高校のレベルが低かったのか。いずれにしても、土日も剣道漬けというわけでもなし、たつぷりと

自由時間もあり、今思うと楽しい部活動だった。

我々が青春の汗を流した3つの道場はすでに母校にないが、今は現役生徒が近代的な道場で同じように汗を流している。現道場が現役生徒にとってかけがえのない思い出の場所となるよう願っている。

KIZUNA 萩原 克明 (93期)
谷間の学年の悲しき青春時代

どの高校、どの時代にも部活には有力な選手が集まる・集まらないの時代があると思われ。私が入学した平成4年もそんな谷間の学年でした。

【入部を決意させたパインジュース】

私は、剣道部に入るか入らないか、迷っていました。どちらかという、入らない方向でしたが、部活見学に行き、当時の3年生達の稽古を見て大いに気持ち揺らぎました。噂に聞いていた「ロケット面」の杉田先輩、恐ろしいほどに鍛えた筋肉を持つ吉井先輩、中学の先輩でもある塚越先輩、抜き胴が得意な三宅先輩、2年生のエースの古屋先輩、等々、まさしく「文武両道」を貫いている先輩方を見て「剣道をやりたい」「あのような先輩方と同じように強くなりたい」と強く思い始めました。トドメは、見学の帰りがけにもらったパインジュースで

仏壇・墓石・神棚・おみこし
墓石・仏壇の清山堂
 本部：高崎市元島名町493-3
 TEL 027-352-9444
 本社：須藤忠商事株式会社
 代表取締役社長 須藤二三男（剣道部76期）

「二百年の時刻を甦らせる」
 古民家再生の施工を手掛けています
(株)建築サービス
 高崎市南大類町1296
 TEL 027-352-0026
 代表取締役 藤本 正行（剣道部69期）

高々剣友会
会長 笠井 秀昭
 (剣道部56期)
 高崎市上並榎町5-5
 TEL 027-362-1019

した。「飲んだら入らねば・・・」悩んだ末、3日後の夜に飲んでしまい、入部しました。

【魔のカタン・カタン】

私の学年は入学当初、なんと20人以上もの新入部員がいました。中には、地区大会で上位入賞するほどの実力の持ち主もいました。しかし、2ヶ月、3ヶ月経つと、幽霊部員が目立ち始めました。校内のパン売り場や「ましも」では見かけられるけれども、道場ではイリオモテヤマネコ並みに見かけない部員も出てきました。時々、道場で見かけるときは、部室の漫画を読みに来ていたり、室内野球部に変身して、顧問の先生が来ないことを良いことにカラーボール野球を道場でしていました。しかし、コーチの乗る車が道場脇の側溝を通る「カタン、カタン」という音を聞くと、あっという間にカバンをかかえて逃げていくのでした。残った者でコーチに稽古をよろしくお願ひします、と言うと、「大会前なのに練習がこのザマはたるんだ」ということで、うれしいかな悲しいかな、特別に我々はしごいていただきました。

【場所取り命】

剣道の大会会場は、交通の利便性から、ほとんど前橋商業高校の体育館が使用されました。県下の全高校競技人口が押し寄せて競技や観覧をするにはちょっと狭いところでした。剣道は競

技人口が少ないと見られがちですが、事情がありまして、実数の2倍かかるものなのです。それは、道具とはいえ扱いは人間並みの丁重さを求められる防具のためです。その防具・荷物の置き場や観戦するための場所取りを、レギュラー以外の2年生や1年生が行うのでした。場所取り先発隊は高崎駅を6時前に出て、会場2階の、①通路から遠すぎず近すぎず、②なるべく女子校の側、という好条件の場所を、他の高校に負けないようにとることが至上命令でした。実際、「それは場所をとりすぎているだろう・・・」と思えるほど広い面積を確保していました。しかし、私の代はいつも1回戦で負けてしまうので、せっかくとった場所も早々に撤退しなくてはなりません。最速で負けて撤退したのが9時30分でした。高高的跡地を北高が占領し、「良い場所をありがとね」とにやにやしながら言われました。このときは、コーチでいらして下さった藤木先輩が自分たちの試合を見ることもできなかったもので、ひどく呆れられて、3年でキャプテンだった自分は情けなくて平謝りでした。

17年度 事業報告

- 4月11日
●編集会議(第1回)
- 5月17日
●役員会議・理事会議(第1回)
- 6月1日
●関東大会出場の部へ祝金贈呈
- 6月2日
●編集会議(第2回)
- 6月16日
●監査役会
- 6月24日
●総会・懇親会
- 6月25日
●翠巒体育第24号発行
- 7月11日
●関東大会出場の部へ祝金贈呈・ゴルフ大会役員会議(第1回)
- 7月26日
●同窓会常任理事・理事候補者リストアップ
- 8月17日
●ゴルフ大会役員会議(第2回)
- 8月28日
●第15回ゴルフ大会
- 9月7日
●国体出場の部へ祝金贈呈
- 9月16日
●高校OB対抗ゴルフ大会(出場者慰労)
- 10月3日
●役員会議(第2回)
- 11月9日
●高崎高校マラソン大会・関東大会出場の部へ祝金贈呈
- 11月19日
●ソフトボール大会・親睦会
- 1月21日
●関東大会出場の部へ祝金贈呈
- 3月1日
●高崎高校卒業式・全国大会出場の部へ祝金贈呈



前列右2人目から筆者、栗原大介先生、佐々木義男外部講師。

QUALITY X DESIGN
三井ホーム
細野 英貴 (バレー部100期)
群馬ホーム株式会社
前橋市日吉町4-32-28 TEL 027 (233) 3115

バレーボール部OB
特級(一般)種別認定代理店
有限会社 大沼保険事務所
取締役 岩丸 高明(82期)
高崎市箕郷町東明屋481-11 TEL.027-371-5914

野球部OB
代表取締役社長 **川手 義昭** (会長・62期)
群馬小型運送株式会社
高崎市飯塚町1068 TEL 027-362-1000
株式会社 エイテック
高崎市中泉町811 TEL 027-372-8111



総会・懇親会

関東大会・国体出場の部へ祝金贈呈

- ソフトテニス部
- 陸上競技部
- 山岳部
- 水泳部
- 硬式テニス部
- スキー部



高崎高校マラソン大会 盾・トロフィー贈呈

第30回定期総会、懇親会
バレーボール部 / 坂本 弘 (87期)

平成 17 年 6 月 24 日高橋会長が議長席に着き、第 30 回定期総会が開催され、以下の順で議事が議場に諮られました。平成 16 年度事業報告、会計報告、監査報告。全て承認され、続いて会則の一部変更、そして、役員任期満了に伴う新役員が議場に諮られ、満場一致で高橋会長の続投とともに新役員の就任が決定しま

した。尚、新役員については、会報誌最終ページに掲載されています。次に、平成 17 年度の事業計画案と予算案が議場に諮られ、これも満場一致で決まりました。

議事終了後、退任役員に対し記念品の贈呈が行われました。そして最後に、第 104 回高中・高高同窓会の紹介が 75 期橋爪良真氏を中心に行われ定期総会は終了しました。

定期総会終了後、場所を隣に移し懇親会が開催されました。本年は、第 30 回の記念総会ということで、毎年出席いただいている高高等学校長を始めとし各運動部顧問の先生、当会顧問の国峯氏、岩田氏、山口氏に加え同窓会から横田英一同窓会会長、PTAから堀口芳明副会長に



出席していただきました。

各御挨拶と御祝辞を頂戴した後、高運動部顧問紹介・総体結果報告がなされ、各部記念撮影が和やかなるうちに行われました。この模様は、翠巒体育会のHPに掲載されています。

しばし歓談後、山口前会長に 8 年間に渡



「翠巒体育」編集会議



卒業式

創業明治11年
総合建設業・一級建築士事務所
製材・プレカット・アスウッド

ISO-9001
認証取得

株式会社 研屋

常務取締役 清水 正郎 (野球部・75期)

本社 / 高崎市飯塚町805 TEL 027-361-5095

野球部OB **ハワイウォーター**

小林 均 (77期)

有限会社 小金

〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町1614
TEL 027-325-4411(代) FAX027-325-4445

山岳部OB (84期)

代表社員・税理士 真下 哲夫

税理士法人 真下経営

高崎市倉賀野町1713 TEL 027-346-1463

翠巒体育会会長職の感謝状が栗原校長から授与され、全員で翠巒斉唱、山口顧問から御礼挨拶、中締めで懇親会は終了しました。

第30回定期総会・懇親会は、学校・翠巒体育会・同窓会・PTAと高高に関係する全ての団体が一堂に会した記念すべき総会・懇親会であり、世代、団体を超え盛会のうちは終了しました。

ゴルフ大会 個人優勝

陸上部／後藤 次一(68期)

第15回翠巒体育会ゴルフ大会において、個人優勝させていただきました後藤でございます。強者の集まりである体育会ゴルフ大会の個人優勝が出来たという事は、大変嬉しく又誇りに思っております。本来翠巒体育会ゴルフ大会は、各部対抗の団体戦を基本としている訳ですが個人優勝も「おつ」のものです。我が陸上部は過去何年も団体戦の参加資格のない人数で参加しておりましたが、数年前より団体戦の参加人数を確保出来るようになり、前々回は少数精鋭で先輩、後輩のチームワークにより、準優勝を勝ち取り、今回も第三位という戦績を収められた事の方も嬉しく思っています。

今回は我が陸上部が、団体優勝、個人優勝、ベスグロの三冠を達成出来る様、メンバーを結集させたいと念じております。最後になりますが同伴競技者の方々、参

加者の皆様、幹事の皆様にお大変お世話になりました。次回は盛大に開催される事を祈念し御礼の言葉とさせていただきます。



左から、2位の菊地氏、優勝の後藤氏、3位の与口氏

ゴルフ大会 団体優勝 柔道部

柔道部／庭田 登志男(68期)

残暑の中、我が柔道部は藤崎裕(54期)、冬木金雄(54期)、沼賀勝平(55期)、小笠原庸介(55期)、桜井弘(56期)、小野敦美(57期)、庭田登志男(68期)以上7名、なんと平均年齢66歳のメンバーで出場いたしました。

昨年この誌上にて2連覇を狙うと書きましたが、まさか連覇するとは思いませんでした。おまけに今年もシニアベスグロを沼賀さん、ベスグロを庭田が獲得いたしました。この勢いで次回、3連覇を狙います。

最後に各部の皆様のご健闘をお祈り申し上げます。



団体優勝の柔道部

●団体戦

| 順位 | 運動部名 | 合計 |
|----|------|-----|
| 1 | 柔道 | 318 |
| 2 | 野球 | 326 |
| 3 | 陸上 | 333 |
| 4 | 卓球 | 334 |
| 5 | サッカー | 335 |

●ネット個人戦

| 順位 | 氏名／運動部名 | アウト | イン | グロス | HCP | ネット |
|----|---------|-----|----|-----|------|------|
| 1 | 後藤次一(陸) | 46 | 40 | 86 | 15.6 | 70.4 |
| 2 | 菊地俊二(バ) | 45 | 45 | 90 | 19.2 | 70.8 |
| 3 | 与口健一(卓) | 49 | 40 | 89 | 18.0 | 71.0 |

●グロス個人戦

| 順位 | 氏名／運動部名 | アウト | イン | グロス |
|----|------------|-----|----|-----|
| 1 | 庭田登志男(柔道) | 38 | 39 | 77 |
| 2 | 江原 功(野球) | 39 | 38 | 77 |
| 3 | 吉田和人(サッカー) | 40 | 37 | 77 |

●グロス個人戦(シニア)

| 順位 | 氏名／運動部名 | アウト | イン | グロス |
|----|----------|-----|----|-----|
| 1 | 沼賀勝平(柔道) | 40 | 36 | 76 |
| 2 | 藤崎 裕(柔道) | 39 | 40 | 79 |
| 3 | 中里 弘(野球) | 39 | 41 | 80 |

総勢62名の参加で行われた第15回翠巒体育会ゴルフ大会



目指せ!
極限の自己を!!

高崎高校 陸上部 OB会 会長 谷 一行(70期)

ソフトボール大会&親睦会
野球部 / 竹村 雄介 (85期)

平成17年11月19日(土)、高崎高校グラウンドにて第2回翠巒体育会親睦ソフトボール大会が行われました。私は今回初めて参加させていただきました。試合はABCの3チームに分かれての総当たり戦です。チーム間の均衡をとるため、野球部OBが偏らないようにチーム編成されます。スポーツと言えばゴルフ程度しかしていない方も多いせいか準備体操は念入りに行われました。個人的には親睦なので気楽に参加するつもりでしたが、さすがに翠巒体育のOB皆様は試合が進行するにつき真剣に勝負にこだわってきている様に感じました。珍プレー好プレーが随所にありました。

夜は観音山錦山荘にてソフトボール大会表彰式と親睦会が行われました。優勝チームの表彰や優秀選手の表彰がお酒を酌み交わしながら、和気あいあいかつにぎやかに行われました。運動と言えばゴルフ位しか最近はしていませんでしたのでとても疲れた1日でしたが、先輩方と有意義な1日が過ごせました。ぜひ、来年も参加させていただきたいと思います。



平成17年度 翠巒体育会収支計算書 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日

| | 科 目 | 金 額 | 摘 要 |
|----------|------------|---------------------|---------------------------------|
| 収入の部 | 年会費収入 | 350,000 | @25,000×14部 |
| | 年窓会補助金 | 300,000 | 高崎高校同窓会 |
| | 広告費収入 | 210,000 | @15,000×14部 |
| | 親睦会収入 | 215,000 | H17. 6.24 高崎ビューホテル |
| | ゴルフ大会収入 | 221,900 | H17. 8.29 ローズベイカントリークラブ |
| | ソフトボール大会収入 | 154,000 | H17.11.19 高崎高校校庭及び錦山荘 |
| | 雑収入 | 186,000 | 祝金、会議個人負担 |
| | 受取利息 | 11 | 群馬銀行 |
| | (当期収入合計) | (1,636,911) | |
| | 前期繰越収支差額 | 692,519 | |
| 収入の部合計 | 2,329,430 | | |
| 支出の部 | 総会・親睦会費 | 336,026 | H17.6.24 高崎ビューホテル |
| | 現役補助金 | 97,640 | 関東大会、インターハイ、全国大会等出場の運動部及びマラソン大会 |
| | 会報発行費 | 315,000 | 「翠巒体育」第24号 |
| | ゴルフコンペ費 | 194,804 | H17. 8.29 ローズベイカントリークラブ |
| | ソフトボール大会費 | 133,374 | H17.11.19 高崎高校校庭及び錦山荘 |
| | 慶弔見舞金 | 97,015 | |
| | 事務用品・通信費 | 40,210 | |
| | 会議運営費 | 251,191 | 編集会議、役員会議等 |
| | 銀行振込手数料 | 420 | 群馬銀行 |
| | (当期支出合計) | (1,465,680) | |
| 特別会計拠出金 | 0 | 特別会計への拠出金 | |
| 支出の部合計 | 1,465,680 | | |
| (収支差額) | (171,231) | (当期収入合計) - (当期支出合計) | |
| 次期繰越収支差額 | 863,750 | 収入の部合計 - 支出の部合計 | |

財産目録 平成18年3月31日現在

| | 科 目 | 金 額 | 摘 要 |
|------|------|---------|---------------------------|
| 資産の部 | 現金 | 0 | 現金手許有高 |
| | 預金 | 863,750 | 群馬銀行高崎米町(普)#0783238 一般会計分 |
| | 正味財産 | 863,750 | |

特別会計 平成18年3月31日現在

| | 科 目 | 金 額 | 摘 要 |
|------|--------|---------|--------------------------|
| 資産の部 | 普通預金 | 500,000 | 群馬銀行高崎西(普)#0593363 特別会計分 |
| | 特別会計財産 | 500,000 | |

口座振込で利用の場合は、下記口座までお願い致します。
群馬銀行 高崎米町支店 普通預金0783238
スィランタイクカイ カイケイ ヨシショウイチ
翠巒体育会 会計 吉井章一

ガンバレ! ソフトテニス部

高崎高校 ソフトテニス部 OB会 会長 丸山 博(68期)



中高年者のスポーツ参加のための メデイカルチェック VOL.7



宮下歯科医院
院長
宮下 英一郎
高崎高校学校歯科医
バスケットボール部(74期)

カスタムメイドスポーツマウスガード

本欄 vol.6 において70期の谷一行先輩が歯の外傷について記載されています。外傷のリスクを有する競技ではあのような悲惨な結果を招く前にスポーツマウスガードの装着が推奨されます。

1. スポーツマウスガードとは

スポーツマウスガードはスポーツによる口腔外傷を減少させ、歯とその周囲組織を保護するために口腔内に装着する弾力性のある装置で、主に上顎の歯列に装着します。マウスガードは口腔内を保護するため、19世紀末に英国の歯科医師がボクサーの為に作ったのが最初と言われています。さらに何人かの歯科医師の手を経ながらゴム製へと進化し、1930年代にはボクシング競技の防具(マウスピース)として認められるようになりました。その後、アメリカンフットボールやラグビーなどの競技に普及すると共に材料もシリコンゴムやEVA樹脂(Ethylene Vinyl Acetate 共重合樹脂)などが使われるようになり、現在に至っています。EVA樹脂はゴムではなく、エチレンと酢酸ビニールの共重合樹脂いわゆるプラスチックで、常温では弾性があり、加熱により軟化します。

スポーツマウスガードにはスポーツ用品店などで扱う既製品と特別な研修を受けた歯科医師が提供するカスタムメイドがありますが歯や歯列、顎の形や大きさは個人によって異なることから装着感や防具としての性能はカスタムメイドの格段の優位性が確立されています。カスタムメイドマウスガードは専用機器により歯列模型上で吸引または加圧することにより成型します。

ボクシングでは現在でもマウスピースという呼称を使用していますが、その他

のスポーツにおいては「外傷を防ぎ、口腔を守る」という意味合いからマウスガード(mouth guard)とかマウスプロテクター(mouth protector)という呼称が使用されていますが、マウスガードと呼ばれるのが一般的です。

2. マウスガード装着の効果

第一に口腔外傷の防止とダメージの軽減が挙げられます。具体的には衝撃力を分散吸収し、歯が折れたり抜けたり、骨が折れたりするのを防止あるいは軽減します。また、顎関節を保護する効果もあります。さらに、自分の歯で舌や口の中の粘膜や唇を傷つけることを防ぐと同時に、衝突相手選手に傷を負わせることを防ぎます。

近年、脳震盪の防止や軽減に効果的なことも報告されています。下顎に衝撃力が加わった場合、マウスガードが頭部への力の伝達を緩和減弱します。また、側方から力が加わった場合でもマウスガードを噛み締めることにより、首の筋肉を緊張させ、頭部を固定して受傷を防止、軽減します。

さらに、外傷の不安から解放されるため、プレーに集中でき、競技パフォーマンスの向上が期待できるなどのメリットがあります。

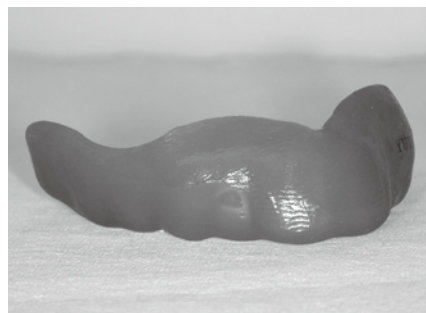
3. マウスガードの装着が必要なスポーツ

現在、日本国内で装着が義務化されているスポーツは一部の競技に限られています。格闘技系のボクシング、キックボクシング、空手、相撲、柔道、レスリングなどはもとより、コンタクト系のラグビー、アメリカンフットボール、アイスホッケー、水球などでの装着も必須のものと考えられています。さらに非コンタ

クト系でもバスケットボール、サッカー、ハンドボール、スキー、スケート、野球などは装着が推奨されています。

4. カスタムメイドマウスガードの作製

カスタムメイドの作製に対応している歯科医院は県内に150カ所以上あります。頭頸部への受傷リスクの可能性を有するスポーツを愛好する方は一度、御自分のかかりつけの歯科医院で相談してみてください。スポーツマウスガードは健康保険の対象にはなりませんので料金は一般自由診療となります。特別な研修を受けた群馬県スポーツマウスガード研究会の会員の歯科医院の場合、マウスガード本体の価格は5,000円程度で提供しておりますが型取り、調整、メンテナンス等を含んで総額10,000円程度の負担となります。



秋山土地開発株式会社
代表取締役 秋山 賢治
(応援部OB会 会長 74期)
藤岡市中大塚223番地1 TEL.0274 (24) 3911

ダイヤモンド LEAD
就活ナビ
求人情報掲載のお申込・お問い合わせは↓(81期・応援・藤井)
株式会社スパン TEL 027・310・2080

RISE® ライズ総合保険
損害保険・生命保険はお任せ下さい!
富田 和弘
(応援部 85期)
〒370-0044 群馬県高崎市岩押町25-18 TEL 027-322-2364

OB 各運動部OB会の近況報告



卓球部

堤 康高
(71期)

ここ数年、卓球部のOBが数多く集合する年間行事は決まっています。まず最初に行うのが、現役の夏合宿に合わせた「現役との交流試合」と「暑気払い」で例年夏休み中の土曜日に高々の体育館で行えるように、顧問の内田先生にスケジュールを調整していただいています。その後の「翠巒体育会のゴルフコンペ」には、上位を目指して他部よりも多い人数が参加します。10月には「卓球部ゴルフコンペ」を行いますので、体育会コンペに参加できなかったOBや、卓球部OBと親しい方にも参加していただいています。年度行事の最後には、「新年会」を行っています。こちらにも内田先生にお願いして、同日の午後に「現役との交流試合」を行ってから三々五々新年会場に集まるようにしています。

今年の新年会の席上で、30年の長きに亘りOB会長を務めていただいた深沢前会長から、85期の橋爪新会長にバトンタッチすることが決定しました。今後の活動は大幅に若返った会長を中心に行うこととなります。



ラグビー部

上羽 正弘
(72期)

ラグビー部OB会は、平成十八年一月七日高崎ビューホテルにおいて新年総会を開催。昨年度OB会活動および決算報告ならびに今年度事業予定が発表され、すべて承認された。また、豊岡グラウンドでは、総会に先立ち恒例となっている現役対OB戦が行われ、白熱したゲームが繰り広げられた。三月一日の卒業式には、三名の三年生部員に対して関根OB会長よりOBとなった証として鷹をあしらった錦糸のエンブレムを贈呈し、卒業を祝った。

今年度のラグビー部OB会活動予定としては、年二回の「OB会報」の発行、年会費の徴収ならびに現役強化策として、例年八月に菅平で行われている夏合宿に関根OB会長等が激励訪問し、明和県央高に惜敗し、ベスト4で終わった県総体の屈辱をバネとして、花園を目指せるチームに生まれ変わるよう会長みずからが熱血指導を行う予定である。



柔道部

鳥居 吉二
(73期 顧問)

今年も、一月三日高道場での稽古始で柔道の活動が始まりました。現役選手の数をしのぐ十五名ほどのOBが選手に交じって稽古に汗を流しました。

その後、恒例の現役選手対OBの試合を行ないました。OBの数が多かったため現役選手は二回りの試合をこなしました。結果はOBの圧勝でした。現役選手は、その2週間後に行なわれた全国高校柔道選手権大会県予選で、決勝に臨むほどのチームであるので、決して弱くはないはずでしたが、OBに歯がたちませ

んでした。

夜には、場所を変えて市内のホテルで総会・新年会を行ないました。現役選手も夕食を十分食べさせてもらい、その後今年の抱負を一人ひとり力強くのべていました。内容はとても頼もしいものでした。是非とも、先輩方の前で語った事を実行し、成果を挙げて欲しいと思います。

今年の新年会では、今井孝造先生が昨年手術のために体調が万全でないため欠席されました。今井先生のいつもの調子のご挨拶がなかったので、やや寂しい感がありました。そのこともあってかひとしきり「クマ」こと今井先生の話で話が盛り上がりました。先生のお人柄に触れる内容があったのでとても懐かしく、また感銘を受けましたのでここにあげておきます。

- 一、しっかり組んで対戦するよう、正々堂々とした試合をするようにいつも言っていた事。
 - 一、掛けたフリをして時間を稼ぐ、いまで言う、「掛け逃げ」をひどく嫌っていた事。
 - 一、団体戦で一度負けた選手を代表戦に起用し、逆転勝利を得た事。
 - 一、県の決勝審判をいつも当然のように行なっていた事。
 - 一、インターハイの決勝をテレビで見ていると、今井先生が審判をしていた事、そしてとても誇りに感じたことなど。
- 今井先生には元気な姿でOB会に顔を出していただきたいと思っています。



山岳部

吉井 章一
(78期)

生涯現役、そして何歳からでも始められるという意味では山登りは結構面白いスポーツではないかと自負しております。会長の話を聞きますと、かなりの頻度で山に親しんでいる様子であり、山にいけば相当な年齢の方が多く、季節の良い時期には混雑するほどのことです。団塊の世代も定年を迎えており、シルバー産業としても良さ趣味となっているようです。しかしながら、私自身が山に行ったのはもう3年前のことで、慣れないと継続しにくいと実感しております。

OB会としての活動としては、計画しているわけではありませんが偶数年に何らかの行動を起こしております。今年もまた平成18年ということで総会等の開催を目標にして準備を始めたところです。「同じ釜の飯を食った」友との再会を楽しみにしております。



陸上競技部

波多野 重雄
(77期)

昨年の陸上部OB会に画期的なできごとが2つありました。一つは、翠巒体育会の総会に30回卒という大先輩高橋昌吉さんがおいでになったこと。実に御歳93歳にも関わらず豊饒たるお姿と当時のお話には感動しました。次に7月に行われたOB会総会において、89回卒で現在母校陸上部の顧問である茂原賢三先生の提案により大学生の会費を大幅に押さえて案内を出したところ、100期以降の現役大学生8名の参加を得たということ。それまでは20名前後の参加だった総会も例年の倍近い36名参加となり、毎年お世話になっていた『司』さんではそろそろ収まりきれない

| | |
|--|--|
| <p>頑張れ 高高柔道部</p> <p>目指せ日本一 励め 文武両道</p> <p>祝 県総体個人優勝 佐藤貴浩君</p> | <p>高崎高校 柔道部 OB会</p> <p>会長 関口 茂樹(63期)</p> |
|--|--|

のではという懸念さえ出たほどでした。残念ながら90回代の参加が監査の石橋修君(90回)一人だったので、その年代の諸君、ぜひ今年はお誘い合わせのうえ多数の参加を期待しています。一緒に陸上部OB会を盛り上げていきましょう。



サッカー部

清水 清志
(81期)

サッカー部OB会は、現役諸君へのサポートを主たる目的とし、活動しています。群馬シニアリーグに参加する翠龍クラブ(前高OBとの合同チーム)、高崎市民リーグに参加するミドル翠巒、群馬リーグ3部に参加する翠巒クラブに各世代のOBが参加しています。若き日のプレーを思い出すかのように、グラウンド一杯走り回り、汗を流しながらボールを追いかけて、楽しんでいるようです。よい成績を期待しましょう。さらに、今年度は、卒業生が16名で、全サッカー部卒業生が633名となりました。今年度の行事としては、例年実施しています高高・前高サッカー交流戦が高崎高校のホーム開催となります。8月第二土曜日の12日に開催予定です。また、2007年度は、サッカー部創部60周年を迎えます。今年度は、準備・実行委員会を立ち上げ準備していきたいと思っております。今年もよろしくお願いいたします。



剣道部

瀧野 修司
(86期)

恒例の新年稽古会から始まるOB会。今年も幅広い年代の先輩方に参加していただき、現役生と竹刀を交えました。春と夏の合宿にもOBとして多くの先輩方が夜の稽古に出向き、現役生を指導・激励しています。稽古会のあとのOB会総会において、長年にわたり会長を務められた横田茂先輩から笠井秀昭先輩へと会長のバトンが渡されました。横田先輩は、これまで幅広い人脈を生かした活動を行ってこられ、剣道部にご尽力いただきましたが、今後もOB会顧問として支えていただくことになりました。

また、新会長の笠井先輩は、現役の七段剣士として活躍をされています。高々の新年稽古、合宿等にも参加をされ、現役剣道部員にも直接剣道を指導していただいています。これからも剣道部とOB会のご指導をお願いします。



応援部

秋山 賢治
(会長・74期)

高崎高校応援部の活動に関しては、平素より栗原校長先生の深いご理解のもと、顧問の川崎先生より熱心にご指導をいただき、心より御礼を申し上げます。

応援部は創部55年を迎え、一層の研鑽・飛躍を心かけるとともに、県内の男子校においても、希少な存在となった応援部の伝統を継承し、「高高らしさ」を示していただければと思います。

応援部OB会は例年1月に定時総会を開催し、1月下旬の「高中・高高新年同窓会」では校歌・応援歌のリーダーを務めさせていただきます。また、現役の活動にあわせ、春の合宿・翠巒祭のリーダー公開祭・夏の甲子園予選の野球応援などの折には、現役の激励をかねて参加をさせていただきます。

OB会のゴルフ大会なども実施しておりますが、今後も、85期以降の若い世代の皆様へ、より多く参加をしていただけますよう、企画を考えていきたいと思っております。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。



硬式野球部

吉井 剛
(80期)

平成17年度の硬式野球部OB会は、6月26日に定時総会を行い、新たな役員(任期2年)が選出されました。総会に先立って母校高々グラウンドで懇親野球を開催し大いに盛り上がりました。思うように体は動かずともプレーヤーとして野球に参加するのが一番と実感した次第です。

総会以外では、例年通りの事業を継続しました。4月保護者会総会、6月翠巒体育会総会、7月選手激励と夏大会の応援、8月対前高OB定期戦、翠巒体育会ゴルフコンペ、11月翠巒体育会ソフトボール大会等です。また、これらの行事に関連して幹事会を開催しています。ただし、残念ながら絶対勝利を目指し多くの若手OBで布陣をしいた対前高OB定期戦は、天気に恵まれず中止となってしまいました。次回開催を楽しみにしています。



バスケットボール部

橋爪 良真
(75期)

昨年度も活動自体は例年同様で、OB総会の実施、現役との元旦交流会・卒業生送別会への参加などでした。但し総会におきましては役員交代が諮られ、二期八年にわたり会長を務められた林進一(72期)先輩に代わり、不肖橋爪(75期)がこのたび会長を仰せつかりました。よろしく御指導賜りますようお願い申し上げます。またその総会で現役への経済的支援をいっそう強めるよう要請され、できる限りのことはさせていただくつもりです。

その他の役職はほとんど変動はありませんが、副会長の一人に平塚守(91期)君を登用し今後の若手OBへの働きかけを期待しております。今春前監督の立見賢治先生が安中高校校長に御昇任され、この慶事もひとつの機縁として立見世代OBのOB会への参加を積極的に呼びかけていきたいと思っております。



ソフトテニス部

田口 恵一
(74期)

平成17年度のOB会は8月20日に開催しました。昼は高々テニスコートにて、OB対現役の対抗戦を行う予定でしたが、雨天のため半分も消化できませんでした。夜は長谷川ホテルにて、総会及び懇親会を行いました。今年度は役員改選があり、下山万吉雄会長(63期)が退任なされ、丸山博新会長(68期)が選ばれました。翠巒体育の理事も塚越先輩(58期)・下山前会長が退任なされ、新理事に木村副会長(72期)・石田事務局(75期)そして私が任命されました。高々ソフトテニス部OB会の伝統を築いた両先輩、本当にご苦労さまでした。役員は退きましたが、テニスの腕はまだ現役ですので、これからもよろしくお願いいたします。懇親会も多数のOBが集まり、高中(高々)庭球部応援歌を最後に歌い、OBと現役にエールを送り、お開きとなりました。平成18年にな

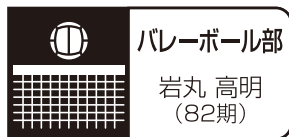
真木会 真木病院

高崎市筑縄町71-1 ☎027-361-8411

2006年6月1日 ペットCT本格稼働
ガンの早期発見のために

真木 俊次(剣道部 55期) 永尾 俊弘(水泳部 70期) 真木 武志(バスケット部 72期)

り、現役は井坂先生のもと、ハイスクールジャパンカップ県予選個人優勝、県総体個人優勝と頑張っていますので、OB会も元氣いっぱい応援できるよう、頑張っていきたいと思ひます。



バレーボール部

岩丸 高明
(82期)

平成17年度バレー部OB会の活動報告を致します。ちょうど一年前になりますが、5月に翠巒クラブが全日本6人制バレーボールクラブカップ選手権大会群馬県予選会に出場し、第2位代表として全国大会の切符を手に入れました。100期以降のOBが中心のチームになり3年、ようやくコンビネーションもかみ合い、8月に秋田県横手市で行われた全国大会も期待が膨らみましたが、初戦をフルセットの熱戦の末落とし、敗者復活戦もまたもやフルセットで惜敗し、残念ながら決勝トーナメントに進むことができませんでした。1月には恒例になりつつある現役との交流試合と、夜の部の懇親会を開催しました。80余名のOBが集まり、思い出話を肴に杯を酌み交わしました。来年もより多くのOBが参加できるように企画していきたいと思ひます。



水泳部

永尾 俊弘
(70期)

2005年度の群馬県水泳界の特筆すべきニュースは、世界水泳モントリオール大会に、群馬県より2選手が派遣されたことです。残念ながら高々生の選出とはなりません、コーチとして群馬スイミングスクールヘッドコーチで水泳部OBの小茂田 猛氏(66期)が選ばれ、両選手の指導のためにモントリオールにおもむきました。群馬県選出の両選手の活躍は、上毛新聞の報道のごとくであります。高々水泳部OB会としても、同氏への壮行会兼2005年度水泳部OB会総会を6月30日にホワイトインにて行い、多数のOBの参加をえて水泳談義などで賑わいました。現役にたいしては、5月の第1回合宿の激励および慰労、8月の夏季国体に出場した今泉君への激励を行いました。現役は10数名ですが、高校総体総合3位等少人数の割には頑張っていると思ひます。また、本年4月に、渋川高校、高崎経済大学で水泳の選手として活躍なされた轟先生が高々に赴任され、新たに水泳部顧問となりました。OB会一同、先生のご指導に期待しております。



硬式テニス部

浜名 和也
(84期)

硬式テニス部OB会は、今年で正式発足3年になります。昨年の総会では、昼間は上並榎テニスコートをお借りして現役部員との合同テニス大会、夜は懇親会と充実した時を送れたと思ひます。また、ここ数年高崎市のクラブ親善大会に出ているのですが7部留まりという成績に終わっています。今年度はレベルアップをはかり、昇格したいものだと考えています。高崎市の大会に出る場合は今年から登録制になりましたのでOB諸君は気軽に声がけしてください。本年度は8月12日の12:00~17:00に上並榎テニスコートでテニス大会を開きます。もちろん夜の懇親会も開催する予定です。たくさんの参加を期待しております。また、現役諸

君の参加も歓迎しますので、OBとの顔合わせを含めてコートに遊びに来ませんか。また、顧問の中村先生にはいろいろ御足労をかけると思ひますがこれからもよろしくお願ひいたします。

《高崎高校運動部の活動報告》
先輩がんばってます



バレーボール部

石毛 佑一

我々バレーボール部は塚本先生、宮川先生、茂木先生の指導の下、全国大会出場という目標に向け、日々練習に励んでいます。日々の練習では限られた時間の中で、部員一人一人が自分の能力を向上すべく、効率の良い練習を心掛けるようにしています。昨年度の大会では県ベスト4という結果に終わってしまいましたが、県総体・インターハイでは群馬県制覇をして、関東大会・全国大会への切符を手に入れたと思ひます。残された時間は少ないですが、持ち味の高い攻撃力を生かすために、大会までの間はレシーブ練習に力を入れて、最後までボールに食らいつく姿勢を養いたと思ひます。大会では全員バレーで勝利を収め、必ずや全国への目標を成し遂げたいと思ひます。



剣道部

北野 寛平

私達剣道部は、顧問の戸塚先生、渡辺先生の指導の下、限られた時間の中で集中して稽古に励んでいます。私達が稽古する上で心掛けている事は、稽古内容の工夫です。現在剣道部の稽古時間は2時間と大変短いです。その中で有意義な稽古を行い、最善の結果を残すためにも工夫はとても大事になってきます。そのため、現在の稽古内容は大変密度が濃く、とても厳しいものになっています。しかし、夏と冬に厳しい稽古をしてきたからこそ、現在の剣道部には部員同士の結束、向上心が満ちあふれています。これから高校総体、インターハイ予選と大きな大会が続きますが、先輩達が築いた伝統と誇りを崩さぬよう精一杯努力していきたいと思ひます。



柔道部

佐藤 貴浩

私達は3年5人、2年2人の7人で日々集中して稽古をしています。顧問の鳥居先生の「一步踏み込んでいけ!!」という指導の下、部員それぞれが練習を工夫し、互いに高めあえる様努力しています。先の高校選手権県予選においては団体戦で初の準優勝に食い込むことが出来ました。巨漢をそろえ長い時間大勢で稽古している学校に勝ち、小柄で短い時間の中、少人数で稽古する私達が集中と工夫で勝負出来ると自信になりました。これから次々に来る試合の中で個々人が不得意を無くし、得意を伸ばせる様に「さらにもう一步踏み込む」気持ちを持っていきたいと思ひます。頂点に立つ為に精一杯努めていきますので、応援宜しくお願ひ申し上げます。

現役よ! 行こう五度目の全国大会
頑張れ! 翠巒サッカークラブ昇格目指せ

高崎高校
サッカー部 OB会
会長 清野 哲雄(74期)



陸上競技部

浅沼 孝治

我々陸上競技部は、田島先生、茂原先生、田中先生の御指導のもと、全国制覇という大きな目標へ向け、日々練習に励んでいます。熱心に指導して下さる先生方、励まし合う仲間、OBの方々からの応援、家族の理解など、今自分達を支えてくれているものをしっかりと認識し、それにしっかりと応えなければならないという責任を一人一人が強く感じています。そして、歴史ある高崎高校陸上競技部の伝統をしっかりと受け継ぎ、お互いに高め合いながら、みんなで強くなっていきたくと思っています。高々生らしいパフォーマンスで、全力で戦っていきたく思いますので、今後ともご指導、御声援をよろしくお願い致します。



ソフトテニス部

富所 洋佑

ソフトテニス部は、現在3年11名、2年14名、1年15名、計40名で、顧問の井坂先生、柴崎先生の指導の下、インターハイ出場を目指して日々練習に励んでいます。昨年度は、残念ながら個人、団体ともにあと一步のところまで敗退し目標を達成できませんでした。また、新人戦でも個人ベスト4が最高で、団体ベスト8という悪い結果に終わりましたので、冬場の練習では、個々の能力を高めるとともにもう一度全員の気持ちを一つにし、練習でのモチベーションを上げ、5月中旬の高校総体、6月中旬のインターハイ予選に照準を合わせていきます。新たな伝統を築いていくために今後も日々努力を重ねていますので、皆様方のご声援よろしくお願い致します。



ラグビー部

植原 裕雄

我々高崎ラグビー部は船戸先生をはじめとした諸先生方のご指導のもと、花園へ向けて日々練習に励んでいます。新人戦ではベスト4という壁が破れず、ベスト8というふがいない結果に終わってしまいました。ですがこれから行われる総体、花園予選では新人戦優勝校の県央を破り優勝します。先生方に新しい事を教わりながらも先輩方々から受け継いだ伝統を守り最高のチームをつくっていきたくです。そしてここ数年間以来の花園出場を果たしたいです。最後になりましたが、顧問の先生方、OBの方々、保護者会をはじめとして、応援していただいている方々へ感謝しつつ、その応援に応えられるように努力を重ねて頑張っていきたいと思ひます。



應援部

武藤 靖秀

我々應援部は諸先輩方による御支援に支えていただき、今年で五十五代となりました。高崎高校全生徒の団結を目標に据え、規律ある行動と妥協のない練習に日々全力を尽くしております。近年、部員の減少に悩まされてはおりますが、部員一人一人の意識は高く、厳しい練習を重ねることで質実剛健な活動を貫いております。風当たりの強い時勢ではありますが、安易に迎合することなく、母校を愛する心と自らの信念、そして應援部員としての誇りを胸に、これからも尽力していく次第であります。今後とも、より一層の御指導、御鞭撻を賜ります様、お願い申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。伝統よ更に栄えあれ。



水泳部

柴崎 雄貴

私達水泳部は他の運動部と比べると人数は見劣りしています。しかしその分一人一人が部員として責任感と高い志を持ち、少数精鋭で集中したトレーニングを続け夏季の水泳大会に備えています。今年は前年度の成績不振を覆し、関東大会出場を果たすべく冬季のトレーニング方式を抜本的に見直し、筋力アップや瞬発力養成に力を注ぎました。これによって私達は身体的能力のみならず精神力・忍耐力を鍛えることができたと思ひます。県内の強豪校との戦いを前に、水泳部一同志気昂揚しております。期待大の一年生と共に高崎高校の名を広く県外にも知らしめられるよう日々精進していくつもりなので、応援よろしくお願い致します。



サッカー部

石関 智史

「全国大会出場」この言葉を心に刻みながら私達は笠原先生の指導の下、日々練習に励んでいます。短い練習時間でどれだけ集中して、そして内容の濃い練習ができるかが、私達にとって重要であり、試合で勝つための近道なのです。しかし、最近のサッカー部はサッカーをするという以前にあまり元気がなく、あまり活気がないように感じられます。まずはそこから見直していく必要があると思ひます。そして一人一人の意識も変わり、サッカーと真剣に向き合うことによってさらなる飛躍ができるようになると思ひます。「全国大会出場」に向けて、一人一人の意識を高く持ち、日々努力したいと思うので応援よろしくお願い致します。



卓球部

山田 悠太

私達卓球部は、総部員数約40名で日々活動しています。卓球台8台には収まりきりませんが、部員一人一人が効率の良い練習を目標として精力的に練習に励んでいます。卓球は個人競技ですが、一人では練習はできません。練習する相手、高め合う仲間が必要なスポーツです。人数が多いため、レギュラー争いはとても厳しいですが、その分部員一人一人のレベルは確実に向上してきています。ここ数年定期戦で前高に勝てない状態が続いています。今年こそは前高に勝つべく、私達高々卓球部は、日々の練習では互いに切磋琢磨し、練習試合や大会では一致団結してチーム力を向上させ、上を目指していきたくと思ひます。



硬式野球部

榎本 翔

我々硬式野球部は、大須賀先生、毒島先生、島田先生、さらに今年はかつて高々野球部の選手として甲子園を経験している境原先生が赴任され、例年よりもさらに活気が溢れる中で甲子園を目指し練習に励んでいます。現在春の大会真っ只中で、1戦でも多く勝利し、夏の大会への自信にしようチーム一丸となって練習しています。3年生は残すところあと4ヶ月となり、朝練を積極的にやったりと、高いモチベーションの中にいます。これから夏までの間にチームの弱点を克服し、隙のないチームに仕上げたい、最後には甲子園の地に立てるよう練習に取り組んでいきたくと思ひます。これからも応援よろしくお願い致します。

高崎高校
ラグビー部 OB会
会長 関根 正志 (70期)

ラグビー部OB (59期)
日本マスチック工業株式会社
代表取締役 木村 洋
高崎市中居町4-4-1 TEL 027-353-3551

ラグビー部OB (74期)
須永建設株式会社
専務取締役 1級建築士 須永信夫
高崎市倉賀野町52番地



バスケットボール部 鈴木 敏之

私達バスケットボール部は、長竹先生をはじめとする諸先生方のご指導のもと、戮力協心をモットーに、インターハイ出場を目指して日々練習に励んでいます。秋に行われた新人戦では3位という結果に終わってしまい、関東大会出場も逃してしまいました。その悔しさをはらすために、チーム力の向上と底上げに少ない時間を徹底的に費やしてきました。これから総体、そしてインターハイ県予選という大きな大会がひかえています。一戦一戦を大事に、そして確実に、全員で戦いぬいて、必ず群馬県制覇、関東大会、インターハイ出場を成し遂げたいと思います。これからも応援よろしくお祈りします。



弓道部 羽鹿 亮

我々弓道部は、3年生12人、2年生5人で日々練習に励んでいます。勉強だけ部活だけに偏らない文武両道を目指している為、少ない時間の中で密度の濃い練習を行っています。現在は学校の射場の状態があまり良くない為、学校と浜川弓道場の双方で練習を行っています。そのような状況ですが、顧問の先生方の熱心な指導の下、以前の他校との技術差は埋まり、やっと関東大会出場への扉が見えてきました。3年生はあと2か月ほどで引退となりますが、残されたラストチャンスを実につかみ取りたいと思います。少なくとも後悔しない様に、仲間と切磋琢磨して、更に自分を成長させていけるように努力していきたいと思ひます。応援よろしくお祈りします。



硬式テニス部 間下 洋平

我々硬式テニス部はコート数に対して部員数が大変多いのですが、短時間で集中して練習することを目標として活動しています。その結果として新人戦個人ダブルス、団体の優勝、関東・全国大会出場を達成することができました。高校からテニスを始めた部員が多い中で、練習量の豊富な学校と戦い、倒すことができたことはとても嬉しいです。またテニスができるすばらしい環境を与えてくれる仲間、先生、すべての人々に感謝します。今後もさらに高く目標を掲げ、練習に精進し、もう1度群馬県制覇を成し遂げたいと思ひます。そして、高崎高校の名が全国に届くように一生懸命頑張っていきたいと思ひます。



空手道部 新井 超統

我々空手道部は、3年生8名、2年生3名の少人数ながらも日々切磋琢磨しあい技の研鑽に励んでいます。他校より練習時間が少ない分、限られた時間の中でいかに効率よく練習出来るかを考えながらいつも練習しています。コーチはいませんが、その分生徒達が自ら練習メニューを考え、常に積極的に活動に取り組んでいます。しかし、残念ながら今年度はまだ大会で上位入賞を果たすことが出来ず、悔しい日々が続いています。ですが、この悔しさをバネにし、より一層の精進に励んで次こそ上位進出を達成し、更に昨年度の先輩方の成し遂げた全国出場を目標として努力していきたいと思ひます。これからも応援宜しくお祈りします。



山岳部 柳田 悠太

我々山岳部は新しく顧問に就任された加藤先生の指導の下で日々活動しています。現在の主な活動は、高校総体に向けた体力強化と、会場である赤城山に関する情報収集と研究です。体力強化は基本的に週2回のランニング、隔週で行われる観音山を利用した負荷トレーニングをしています。研究の方では、過去の先輩方が残して下さった資料を使い、赤城山への知識を深めるべく、日々研究を行っています。昨年度は目標としていた関東大会への出場を果たすことができました。なので今年度はさらに上の全国大会を目標とし、日々の活動をがんばっていきたく思っています。応援よろしくお祈りします。



軟式野球部 杉山 玄昌

我々軟式野球部は週3日と練習日は少ないですが、一人一人が自分の課題を見つけ真剣に練習に励んでいます。軟式野球部には、各学年に高校から野球を始める人がたくさんいます。そんな野球の初心者も高校3年にもなると、経験者と同じ、もしくはそれ以上の力をつける人ができます。そのような人がレギュラー陣に刺激をあたえ、激しいレギュラー争いのもと野球のできる環境が整っているのが軟式野球部です。大会では、まだ1勝とチーム本来の力が出ていないように思われます。しかし、3年生最後の春の総体では、関東大会出場を目標に全力で戦います。応援よろしくお祈りします。



スキー部 横田 穂高

私達スキー部は、現在2年生3人で活動しています。部員不足で廃部の危機に追い込まれていますが、今年度は関東、全国に出場したので、今後はさらに上を目指していきます。スキーはシーズンスポーツであり、活動時期や場所も限定されています。しかし、シーズン外の期間の練習こそがスキーの技能を上げるためには重要であると考えています。私達が行っているのは競技スキーであり、純粋に個人のタイムを競うものです。選手のレベルは様々なですので、練習は個々の能力に合わせて行っています。スキーは基本的には個人で行う競技ですが、部員同士の団結を図ることも大切です。個々の目標に向けて、これからも精進していきたいと思ひます。



バドミントン部 岡田 拓也

我々バドミントン部は現在部員数がとても多く、使えるコートが限られている中で練習時間を確保するため活動の時間帯をずらす等の工夫をして、そういった環境の中でも団体戦ベスト8以上を目標として技術の向上に努めています。しかし、バドミントン経験者の少ない西毛地区に対し、経験者の多い東毛地区の高校の実力は高く、高校総体等の大会での現状は厳しいものであるといえます。しかし普段の練習から、どのようにしたら勝てるのかというのを強く意識し、練習の質を高めれば、実力差は縮まっていき、先輩達も目指してきたベスト8の壁を破れると考えています。それなので、これからも目標に向け頑張りたいと思ひます。

御宴会、慶弔のお席、同窓会、PTA、趣味のお集まり等に…。

刺身 魚 仲

取締役社長 羽鳥 修司 (卓球部・63期)
高崎市九蔵町17 TEL 027-322-2428 (代)
FAX 027-326-7070

紳士服の専門店

マツヤ

代表取締役 高見澤 隆 (卓球部・61期)

株式会社大陸不動産

代表取締役 山口 正敏
(卓球部・58期)

高崎市宮元町108番地 TEL.027-322-4031

平成17年度 運動部活動状況

陸上競技部

| | | |
|------------------|------|-----|
| 県高等学校対抗陸上競技大会 | | |
| やり投 | 伊丹達生 | 1位 |
| ※その他入賞種目多数 | | |
| 男子1部校総合 | 45点 | 第6位 |
| 新人大会 | | |
| 800m | 浅沼孝治 | 3位 |
| 5000m | 大崎雄也 | 2位 |
| 3000mSC | 小林祐斗 | 3位 |
| (上記3名は関東選抜新人出場) | | |
| 県選手権大会 | | |
| 1500m | 星野慎也 | 1位 |
| 5000m | 橋本隼 | 4位 |
| 3000mSC | 小林祐斗 | 2位 |
| やり投 | 伊丹達生 | 8位 |
| 1600mR | 唐澤学 | 4位 |
| | 長部量大 | |
| | 星野慎也 | |
| | 中島清純 | |
| | 浅沼孝治 | |
| (上記9名は関東選手権大会出場) | | |
| 群馬県高校駅伝 | | 4位 |
| (関東駅伝出場) | | |
| 県新人駅伝 | | 3位 |

バスケットボール部

| | | |
|--------------|----------|-----|
| 全国高等学校選抜優勝大会 | | |
| 一次予選 | | |
| 2回戦 | 100 - 32 | 中之条 |
| 3回戦 | 98 - 40 | 高経附 |
| 4回戦 | 69 - 63 | 新島 |
| 二次予選 | | |
| 準々決 | 80 - 60 | 前西 |
| 準決勝 | 84 - 100 | 高商 |
| 3位 | | |
| 西毛地区新人大会 | | |
| 2回戦 | 82 - 31 | 中央 |
| 3回戦 | 108 - 28 | 高工 |
| 準決勝 | 81 - 60 | 新島 |
| 決勝 | 97 - 73 | 高商 |
| 優勝 | | |
| 群馬県高等学校新人大会 | | |
| 1回戦 | 98 - 10 | 渋工 |
| 2回戦 | 93 - 23 | 富岡 |
| 3回戦 | 79 - 52 | 太東 |
| 4回戦 | 84 - 66 | 新島 |
| 決勝リーグ | 74 - 43 | 太工 |
| | 72 - 78 | 樹徳 |
| | 54 - 68 | 育英 |
| 3位 | | |

バレーボール部

| | | |
|-----------|-------|-----|
| インターハイ県予選 | | |
| 4回戦 | 2 - 1 | 太東 |
| 準々決 | 2 - 0 | 県央 |
| 準決勝 | 0 - 2 | 伊勢崎 |
| 3位 | | |
| 西毛地区大会 | | |
| 2回戦 | 2 - 0 | 富岡 |
| 準決勝 | 2 - 0 | 高工 |
| 決勝 | 1 - 2 | 高北 |
| 準優勝 | | |
| 新人大会 | | |
| 2回戦 | 2 - 0 | 中之条 |
| 3回戦 | 2 - 0 | 館林 |
| 準々決 | 2 - 0 | 藤工 |
| 準決勝 | 0 - 2 | 県央 |
| 3位 | | |
| 全国選抜県予選 | | |
| 3回戦 | 2 - 0 | 西邑楽 |
| 準々決 | 2 - 0 | 太田 |

準決勝 0 - 2 伊勢崎 3位

ソフトテニス部

| | | |
|-----------------|--------|---------|
| 関東大会 | | |
| 個人 | 植松・今井組 | 3回戦 |
| | 片山・木村組 | 2回戦 |
| | 千田・西田組 | 1回戦 |
| 団体 | 2回戦 | ベスト16 |
| インターハイ県予選 | | |
| 個人 | 植松・今井組 | 7位 |
| 団体 | | 3位 |
| 新人大会 | | |
| 個人 | 梅村・西田組 | 3位 |
| | 富所・神宮組 | ベスト8 |
| | 伊藤・千田組 | ベスト16 |
| 団体 | | ベスト8 |
| 全国選抜県予選 | | |
| 団体 | | ベスト8 |
| ハイスクールジャパンカップ予選 | | |
| 個人 | 梅村・西田組 | 優勝(全国へ) |
| | 富所・神宮組 | 3位 |

卓球部

| | | |
|-------|--------------|-------|
| 県強化大会 | | |
| シングルス | 山田 | ベスト64 |
| 新人大会 | | |
| 団体 | 1回戦 3 - 0 渋工 | |
| | 2回戦 0 - 3 伊商 | |

ラグビー部

| | | |
|------------------------|---------|------------------|
| 一年生大会(前工、育英との合同チームで参加) | | |
| 合同チームリーグ戦 | | |
| | 5 - 19 | 合同(前橋、前東) |
| | 22 - 19 | 合同(渋川、渋工、高工、中央) |
| | 0 - 12 | 合同(伊勢崎、興陽、桐生、桐工) |
| 3位 | | |
| 県選手権大会 | | |
| 予選リーグ | | |
| | 19 - 22 | 太田 |
| | 127 - 0 | 渋川 |
| 予選2位通過 | | |
| 決勝トーナメント | | |
| 1回戦 | 26 - 7 | 前東 |
| 2回戦 | 0 - 36 | 樹徳 |
| ベスト8 | | |
| 新人大会 | | |
| 2回戦 | 59 - 0 | 合同(興陽・高工) |
| 3回戦 | 5 - 42 | 県央 |
| ベスト8 | | |
| 7人制大会 | | |
| 1回戦 | 72 - 0 | 富岡 |
| 2回戦 | 36 - 7 | 伊勢崎 |
| 3回戦 | 24 - 17 | 樹徳 |
| 準決勝 | 0 - 22 | 農二 |
| ベスト4 | | |

サッカー部

| | | |
|--------------|--------|------|
| インターハイ県予選 | | |
| 1回戦 | 2 - 1 | 常磐 |
| 2回戦 | 2 - 1 | 共愛 |
| 3回戦 | 0 - 9 | 育英 |
| ベスト16 | | |
| 県高校サッカー選手権大会 | | |
| 一次予選 | | |
| | 1 - 1 | 伊東 |
| | (4PK5) | 予選敗退 |
| 県新人リーグ1部 | | |
| 第1節 | 1 - 1 | 桐生 |
| 第2節 | 1 - 0 | 常磐 |
| 第3節 | 0 - 1 | 高経附 |
| 第4節 | 1 - 3 | 桐一 |
| 第5節 | 2 - 0 | 館林 |
| 第6節 | 6 - 0 | 太商 |

第7節 0 - 1 前東 5位

水泳部

| | | |
|-----------|-------------------|----------|
| 春季新人大会 | | |
| 50mバタ | 佐俣友規 | 4位 |
| 50m自 | 佐俣友規 | 8位 |
| 関東高校県予選 | | |
| 50m自 | 今泉裕太 | 1位 |
| 100m自 | 今泉裕太 | 3位 |
| 200m自 | 紋谷祐爾 | 8位 |
| 400mメR | 今泉・紋谷・佐俣・池田 | 6位 |
| 400mR | 紋谷・今泉・佐俣・池田 | 5位 |
| 800mR | 今泉・紋谷・根岸・深津 | 6位 |
| 学校対抗 | | |
| 第5位 | | |
| 関東大会 | | |
| 50m自 | 今泉裕太 | (:25.10) |
| 100m自 | 今泉裕太 | (:55.58) |
| 県高校総体 | | |
| 50m自 | 今泉裕太 | 1位 |
| 100m自 | 今泉裕太 | 2位 |
| 50m自 | 紋谷祐爾 | 7位 |
| 400mメR | 深津・紋谷・今泉・池田 | 7位 |
| 400mR | 紋谷・佐俣・今泉・池田 | 4位 |
| 800mR | 今泉・紋谷・南・佐俣 | 6位 |
| 学校対抗 | | |
| 第6位 | | |
| 県高校新人大会 | | |
| 200m背 | 清水文也 | 2位 |
| 100m背 | 清水文也 | 7位 |
| 100m背 | 柴崎雄貴 | 8位 |
| 100mバタ | 伊能知彦 | 6位 |
| 100m平 | 新井聖貴 | 7位 |
| 400mメR | | |
| | 清水(文)・伊能・柴崎・清水(駿) | 2位 |
| 200mR | | |
| | 柴崎・新井・清水(文)・清水(駿) | 4位 |
| 400mR | | |
| | 柴崎・佐藤・桑原・清水(文) | 1位 |
| 国民体育大会 | | |
| 少年A 800mR | 今泉裕太 | 9位 |

柔道部

| | | |
|-----------|------------|------|
| インターハイ県予選 | | |
| 団体 | | ベスト8 |
| 個人 | 81kg級 天田俊祐 | 3位 |
| | 90kg級 吉田将治 | 3位 |
| 新人大会 | | |
| 団体 | | 3位 |
| 全国高校選手権予選 | | |
| 団体 | | 準優勝 |

剣道部

| | | |
|-----------|-------|-----|
| インターハイ県予選 | | |
| 1回戦 | 5 - 0 | 富実 |
| 2回戦 | 1 - 3 | 吉井 |
| 新人大会 | | |
| 2回戦 | 1 - 3 | 利根商 |

硬式テニス部

| | | |
|------------|--------|------|
| インターハイ県予選 | | |
| 団体 | | ベスト8 |
| 県新人大会 | | |
| 団体 | | 優勝 |
| (関東選抜大会出場) | | |
| 個人ダブルス | 新開・河野組 | 優勝 |
| シングルス | 新開康平 | 3位 |
| | 河野広樹 | ベスト8 |
| 関東選抜大会 | | |
| 16校出場中15位 | | |

(ドリーム枠で全国選抜大会出場)
全国選抜大会
1回戦 1-4 美鈴ヶ丘(広島)

硬式野球部

第87回全国高等学校野球選手権群馬大会
2回戦 2-1 桐西
3回戦 0-2 伊東
第58回秋季関東地区高校野球大会群馬県予選
2回戦 2-7 高北

空手道部

インターハイ県予選
個人形 新井超統・徳江俊一 予選敗退
個人組手 新井康広 3回戦敗退
林 禎彰 1回戦敗退
小此木亮 2回戦敗退
笠原 俊 2回戦敗退
団体組手 1回戦 2-2 渋川 延長戦敗退
1・2年生大会
個人形 徳江俊一・笠原 俊 予選敗退
個人組手 鎌田 商大附戦 0-8 (1回戦)
新井 商大附戦 0-6 (1回戦)
戸塚 桐工戦 0-3 (1回戦)
林 利根実戦 6-3 (1回戦)
前 西戦 2-7 (2回戦)

新人大会
個人形 笠原 俊・徳江俊一 予選敗退
個人組手 清水 館商工戦 4-0 (1回戦)
商大附戦 0-8 (2回戦)
櫻井 渋川戦 4-2 (1回戦)
沼田戦 0-8 (2回戦)
新井 前東戦 0-3 (1回戦)
國井 商大附戦 1-8 (1回戦)
団体組手 農二戦 1回戦敗退

スキー・スケート部

県高校総体
ジャイアントスラローム 横田穂高 7位
スラローム 横田穂高 8位
関東高校スキー大会
横田穂高・狩野明彦 出場
国体 横田穂高 出場
関東スキー選手権大会
ジャイアントスラローム 横田穂高 3位
スラローム 横田穂高 9位

弓道部

高崎市民大会
個人 堀越晃輔 3位

バドミントン部

インターハイ予選
団体 1回戦 3-0 渋川青翠
2回戦 0-3 前東
新人大会
ダブルス 岡田・與那城組
4回戦 (ベスト 32)
1年シングルス
星野・石井・戸井田・木村
5回戦 (ベスト 32)
団体 2回戦 1-3 伊勢崎清明
高崎市高校生大会
岡田・木村組 優勝
與那城・青木組 3位
黒澤尚・深澤組 3位

山岳部

関東大会 出場

第41回高校総体 成績一覧(平成18年) 総合順位 4位

陸上競技部

400mH 中島清純 5位
3000mSC 土屋貴弘 3位
走高跳 松田貴之 4位
(以上関東大会出場)

バスケットボール部

1回戦 98-26 伊工
2回戦 69-36 大商
3回戦 146-30 高工
準々決 89-68 新島
準決勝 61-64 前商 3位

バレーボール部

4回戦 2-0 沼田
準々決 2-1 高北
準決勝 0-2 泉央 3位
(関東大会出場)

ソフトテニス部

団体 2回戦 3-0 館林
3回戦 0-2 高工 ベスト 16
個人 富所・神宮組 優勝
(関東大会出場)
梅村・西田組 ベスト 16
(関東大会出場)

卓球部

団体 1回戦 3-0 板倉
2回戦 0-3 前橋

ラグビー部

1回戦 50-7 桐生
2回戦 50-5 樹徳
準決勝 17-19 泉央
3位決 21-25 高商 ベスト 4

サッカー部

2回戦 2-1 藤工
3回戦 8-0 中央
4回戦 1-4 館林 ベスト 16

柔道部

団体 3位
個人 無差別級 佐藤貴浩 優勝

剣道部

1回戦 2-1 前東
2回戦 1-1 利根商
代表戦延長5回で勝ち
3回戦 0-4 前橋 ベスト 16

硬式野球部

2回戦 17-2 商大附
3回戦 3-2 太商
4回戦 3-4 高商 ベスト 16

硬式テニス部

団体 2回戦 3-0 前橋
3回戦 2-0 農二
4回戦 2-0 高工
決勝リーグ 1-2 育英
1-2 太田
3-0 前商 3位
個人 ダブルス 新開・河野組 優勝
(関東大会出場)
シングルス 新開康平 ベスト 16
河野広樹 ベスト 16

空手道部

個人形 笠原 俊・徳江俊一 予選敗退
個人組手 新井超統 1回戦敗退
櫻井志史 1回戦敗退
國井洋雄 1回戦敗退
宮入盛豪 1回戦敗退
団体組手 1回戦 対太東 勝利
2回戦 対太田 敗退

山岳部

9位

弓道部

予選落ち

バドミントン部

団体 2回戦 2-1 農二
3回戦 0-2 桐生
シングルス
4回戦 岡田、青木 ベスト 64



<http://www5.wind.ne.jp/t2suiran/>

翠巒体育会の活動にご意見・ご要望などがありましたら下記メールアドレスまでお気軽にご連絡ください。

E-mail suiran-taiikukai@apost.plala.or.jp



翠巒体育会役員名簿

(平成 18. 6. 27)

| 役職 | 氏名 | 期 | 運動部名 | 電話 |
|-----------|--------|----|--------|----|
| 会長 | 高橋 浩生 | 78 | バレーボール | |
| 副会長 | 横田 茂 | 55 | 剣道 | |
| // | 庭田 登志男 | 68 | 柔道 | |
| // | 谷 一行 | 70 | 陸上 | |
| // | 関根 正志 | 70 | ラグビー | |
| // | 田口 恵一 | 74 | ソフトテニス | |
| // | 秋山 賢治 | 74 | 応援 | |
| // | 清野 哲雄 | 74 | サッカー | |
| // | 清水 正郎 | 75 | 野球 | |
| // | 斎藤 英敏 | 83 | 硬式テニス | |
| // | 松本 基志 | 77 | 山岳 | |
| // (情報部長) | 堤 康高 | 71 | 卓球 | |
| // (編集局長) | 橋爪 良真 | 75 | バスケット | |
| // (会計) | 永尾 俊弘 | 70 | 水泳 | |
| 監査 | 吉井 章一 | 78 | 山岳 | |
| // | 川手 義昭 | 62 | 野球 | |
| // | 後藤 次一 | 68 | 陸上 | |
| // | 阿久澤 茂 | 69 | サッカー | |
| 顧問 | 國峯 善次郎 | 50 | サッカー | |
| // | 岩田 武雄 | 53 | バスケット | |
| // | 山口 正敏 | 58 | 卓球 | |
| 事務局 | 鳥居 吉二 | 73 | 柔道 | |
| 局長 | 岩丸 高明 | 82 | バレーボール | |
| // | 富田 和弘 | 85 | 応援 | |
| // | 茂原 賢三 | 89 | 陸上 | |
| 理事 | 岩丸 高明 | 82 | バレーボール | |
| // | 坂本 弘 | 87 | // | |
| // | 長谷川 裕二 | 93 | // | |
| // | 小池 政一 | 77 | 剣道 | |
| // | 浦野 英孝 | 77 | // | |
| // | 滝野 修司 | 86 | // | |
| // | 関口 茂樹 | 63 | 柔道 | |
| // | 志田 登 | 82 | // | |
| // | 寺沢 保夫 | 83 | // | |
| // | 後藤 次一 | 68 | 陸上 | |
| // | 坂本 正樹 | 71 | // | |
| // | 木村 隆一 | 74 | // | |
| // | 秋山 雅巳 | 70 | ラグビー | |
| // | 上羽 正弘 | 72 | // | |
| // | 須永 信夫 | 74 | // | |
| // | 新谷 恭一 | 54 | 水泳 | |
| // | 斎藤 全賢 | 75 | // | |
| // | 白井 浩一 | 89 | // | |
| // | 深沢 昇 | 57 | 卓球 | |
| // | 角倉 信久 | 69 | // | |
| // | 橋爪 洋介 | 85 | // | |
| // | 木村 芳之 | 72 | ソフトテニス | |
| // | 石田 和久 | 75 | // | |
| // | 鈴木 伸生 | 80 | 応援 | |
| // | 藤井 正弘 | 81 | // | |
| // | 富田 和弘 | 85 | // | |
| // | 國峯 賢一 | 74 | サッカー | |
| // | 清水 清志 | 81 | // | |
| // | 安藤 英彦 | 86 | // | |
| // | 小林 均 | 77 | 野球 | |
| // | 清水 威 | 85 | // | |
| // | 神原 一好 | 79 | バスケット | |
| // | 佐藤 弘之 | 81 | // | |
| // | 平塚 守 | 91 | // | |
| // | 長谷川 泰三 | 83 | 硬式テニス | |
| // | 松本 潔志 | 84 | // | |
| // | 長井 友之 | 74 | 山岳 | |
| // | 吉井 章一 | 78 | // | |

| 役職 | 氏名 | 期 | 運動部名 | 電話 |
|------|--------|----|--------|----|
| 編集委員 | 岩丸 高明 | 82 | バレーボール | |
| // | 小池 政一 | 77 | 剣道 | |
| // | 鳥居 吉二 | 73 | 柔道 | |
| // | 波多野 重雄 | 77 | 陸上 | |
| // | 大田部 功 | 85 | ラグビー | |
| // | 永尾 俊弘 | 70 | 水泳 | |
| // | 堤 康高 | 71 | 卓球 | |
| // | 木村 晴彦 | 87 | ソフトテニス | |
| // | 藤井 正弘 | 81 | 応援 | |
| // | 清水 清志 | 81 | サッカー | |
| // | 吉井 剛 | 80 | 野球 | |
| // | 橋爪 良真 | 75 | バスケット | |
| // | 浜名 和也 | 84 | 硬式テニス | |
| // | 吉井 章一 | 78 | 山岳 | |

| 学校側顧問 | |
|----------|-------------------------------|
| 学 校 長 | 栗原 健 |
| 教 頭 | 田中 勇一 |
| 運 動 部 長 | 長竹 潤 |
| バレーボール | 塚本 泰弘・茂木 豊・宮川 淳吾 |
| 剣 道 | 戸塚 泰聖・渡辺 正一・萩原 弘和 |
| 柔 道 | 鳥居 吉二・木村 高己・関口 博士 |
| 陸 上 | 田島 正徳・田中 雅徳・坂爪 誠・(茂原 賢三) |
| ラ グ ビ ー | 船戸 渉・大野 俊彦・西澤 南・中野 憲一・新井 功 |
| 水 泳 | 橋本 晃一・前田 敏明・轟木 重利 |
| 卓 球 | 内田 均・小林 正好 |
| ソフトテニス | 井坂 奨・柴崎 浩明・川崎 洋一 |
| 応 援 | 川崎 洋一・仲谷 佳郎 |
| サ ッ カ ー | 笠原 恵太・塩原 秋雄・坂本 直之・曾根 秀朗 |
| 野 球 | 大須賀 誠一・毒島 健一・境原 尚樹・島田 学 |
| バスケット | 長竹 潤・篠原 浩一・山田 樞 |
| 硬式テニス | 中村 健一・松本 正志・諏訪 賢一 |
| 山 岳 | 加藤 俊介・齊藤 敬一・小林 政幸・澁谷 正章・大野 俊彦 |
| スキー・スケート | 轟木 重利・小林 政幸・新井 功 |
| 弓 道 | 間々田 功・天野 正明・前田 敏明 |
| 空 手 道 | 上原 弘充・新井 功・工藤 正宏・船戸 渉 |
| 軟式野球 | 島田 学・加藤 俊介・関根 正弘・境原 尚樹 |
| バドミントン | 三浦 昭久・宮崎 秀明・新井 功 |

O B 会長名簿

| 運動部名 | 氏名 | 期 | 電話 |
|---------|-------|----|----|
| バレーボール | 菊地 俊二 | 52 | |
| 剣 道 | 笠井 秀昭 | 56 | |
| 柔 道 | 関口 茂樹 | 63 | |
| 陸 上 | 谷 一行 | 70 | |
| ラ グ ビ ー | 関根 正志 | 70 | |
| 水 泳 | 永尾 俊弘 | 70 | |
| 卓 球 | 橋爪 洋介 | 85 | |
| ソフトテニス | 丸山 博 | 68 | |
| 応 援 | 秋山 賢治 | 74 | |
| サ ッ カ ー | 清野 哲雄 | 74 | |
| 野 球 | 川手 義昭 | 62 | |
| バスケット | 橋爪 良真 | 75 | |
| 硬式テニス | 小池 俊明 | 80 | |
| 山 岳 | 清水 正爾 | 55 | |

◎ [田口・74期] 高々のテニスコートで、ひねもす汗を流した時から31年の歳月が過ぎ、現在は私の息子が、バスケットコートで汗を流している。高々でもっとも厳しいクラブである。最近2年間は、ソフトテニス部に不義理をして、バスケット部の応援ばかりである。県外の練習試合から、公式戦まで。バスケットの試合は、観客が多い。総体の最終日は、浜川体育館が他校の生徒と保護者、それに中学生からミニバスまで観戦に来ていて、満員であったのは驚いた。高々生のスポーツレベルは、我々の時代よりはるかに高いように思われる。幼い頃からクラブに入ってスポーツをしている為か。用具の発達と共にスポーツ理論も発達した為か。当然、高々の先生の熱い指導も一因である。高々の運動部がそれぞれ活躍し、インターハイ予選で朗報を手にするを希望する。